

令和 8 年 2 月 2 8 日

株式会社博報堂 御中

八日市 律子

委嘱業務完了および実績報告書

資源エネルギー庁「令和 7 年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業（エネルギー教育推進事業）地域におけるエネルギー教育実践事業」における令和 7 年 6 月 1 3 日に委嘱された内容について、委嘱業務の完了と実績を以下の通りご報告いたします。

・委嘱概要

特別委員氏名	八日市 律子（京都市立大淀中学校）
委嘱期間	令和 7 年 5 月 26 日～令和 8 年 2 月 28 日
実践タイトル	エネルギー・環境問題を主体的・対話的に考える そして、私たちは人とつながる、世界とつながる、未来につなげる

・実施事項

本校では各教科（社会科・理科・技術・家庭科）の学習を通してエネルギー・環境問題について幅広く学び、生徒一人ひとりが未来を担う自分達の課題としてとらえ、その解決のための適切な判断と行動ができる生徒の育成を目指しています。そこで、各教科のエネルギー・環境問題に関するテキスト「わたしたちの暮らしとエネルギー」を活用し、授業を行っています。またこのテキストを活用し、家庭分野の住生活の総括として「エネルギーアドバイザーになろう！」というテーマで調べ学習し、クラス全体で共有する予定です。さらに NUMO とのコラボ授業（原子力発電の高レベル放射性廃棄物の「地層処分について」）を実施し、高レベル放射性廃棄物の処分問題を正しく理解し、現実の課題と向き合い議論できる場を設定したい。また各教科の教職員で「原子力の科学館（あっとほうむ）」を見学し、様々なエネルギー・環境問題に関する知識・理解を深めたい。

・成果

エネルギー・環境問題に関するテキスト「わたしたちの暮らしとエネルギー」を活用したことで、生徒も指導者も各教科の学習内容の繋がりを実感し、幅広く様々な知識・理解を深めることができた。

・今後への課題

これからも各教科の学習内容の知識を活かし、エネルギー・環境問題に対話的に学び、議論できる授業を行い、様々な課題の解決のために適切な判断と行動ができる生徒の育成を目指したいです。